

戦争による国別犠牲者数

注：戦争の犠牲者数については、調査主体や調査時期によって数字が異なります。本資料に掲げた数字は、『日本の侵略と膨張』（吉岡吉典・新日本出版社）や、『一九九五年八月十五日に』（朝日新聞社）、インターネット情報などをベースに、各種調査の中でより大きな数字を参考情報として記載したものです。

◇日清戦争：1894年7月～1895年3月：の死者

日本	清	備考
1万3800人	3万5000人	清軍の死亡者は不明な点も多い

◇日露戦争：1904年2月～1905年9月：の死者

日本	ロシア帝国	備考
11万5600人	4万2600人	

◇第1次世界大戦：1914年7月～1918年11月：の死者

連合国側	死者数	備考
ロシア	170万人	
フランス	135万8000人	
イギリス	90万8000人	
イタリア	65万人	
アメリカ	11万7000人	
ルーマニア	33万6000人	
セルビア	4万5000人	
ベルギー	1万3800人	
ギリシャ	5000人	
ポルトガル	7200人	
モンテネグロ	3000人	
日本	300人	動員兵力80万人 人的損害の比率0.2%
小計	約514万3000人	
同盟国側		
ドイツ	177万4000人	
オーストリア＝ハンガリー	120万人	
トルコ	32万5000人	
ブルガリア	8万8000人	
小計	約338万6000人	
合計	約852万9000人	

◇第2次世界大戦：1939年9月～1945年9月：の死者

枢軸国側	死者数	市民の死者数	計
日本	230 万人	80 万人	310 万人
ドイツ	422 万人	267 万人	689 万人
オーストリア	25 万人	93 万人（うちユダヤ系市民 65 万人）	118 万人
イタリア	30 万人	13 万人	43 万人
その他	163 万人		163 万人
小計	約 1205 万人		
連合国側			
ソ連	1360 万人	700 万人	2060 万人
中国	350 万人	971 万人	1321 万人
ポーランド	12 万人	591 万人（内ユダヤ系市民 270 万人）	603 万人
ユーゴスラビア	50 万人	121 万人	171 万人
フランス	20 万人	40 万人	60 万人
イギリス	14 万人	24 万人	38 万人
アメリカ	29 万人		29 万人
その他	78 万人		
小計	約 4360 万人		
合計	約 5565 万人		
アジア・太平洋各国			↑上記の国を除く
朝鮮	20 万人		
台湾	3 万人		
フィリピン	111 万人		
ベトナム	200 万人		ホーチミンの主張では 1944 年末から 1945 年にかけてベトナム北部で 200 万人が餓死
ビルマ	15 万人		
マレーシア・シンガポール	10 万人		
インドネシア	400 万人		
インド	150 万人		

オーストラリア	2万3000人		
ニュージーランド	1万2000人		
合計	912万5000人		

◇東西ドイツの分断

1945年、第二次世界大戦に敗北したドイツはオーデル・ナイセ線以東の、東プロイセンやシュレジェン地域を完全に喪失した。これにより、**戦前の領土の25%を失う**こととなった。さらにはアメリカ、イギリス、フランス、ソビエト連邦の四カ国に分割占領され（連合軍軍政期）、1949年、ボンを暫定的な首都とするドイツ連邦共和国（西ドイツ）とベルリンの東部地区（東ベルリン）を首都とするドイツ民主共和国（東ドイツ）に分裂した。

	面積	人口	備考
西ドイツ（ドイツ連邦共和国）	248,717km ²	63,254,000人 (1990年)	
東ドイツ（ドイツ民主共和国）	108,333km ²	16,111,000人 (1990年)	
統一ドイツ（ドイツ連邦共和国）	357,121 km ²	8033万人 2011年	1945年以前 447,745 km ²

※1945年9月17日から、ベルリン南西ポツダムにて、依然交戦中の日本の終戦と日本降伏後の処理を協議するポツダム会談が行われた。イギリスのウィンストン・チャーチル首相、4月12日のルーズベルト大統領の急死に伴い、副大統領から昇格・就任したアメリカのハリー・S・トルーマン大統領、ソビエト連邦のヨシフ・スターリン首相が出席した。この会談で日本に対し降伏を勧告するポツダム宣言の発表と、ドイツの戦後分割統治が取り決められたポツダム協定の締結が行われた。降伏した枢軸国の将兵はシベリアなどに送還されて強制労働させられるとともに、新たに戦勝国の領土となった地域からは1200万人を超えるドイツ人、ポーランド人、ユダヤ人が追放され、200万人以上が命を落とした。

◇朝鮮戦争：1950年6月～1953年7月：犠牲者

	総数	軍	民間	備考
韓国	約240万人	98万7000人	143万人	
朝鮮	約292万人	92万6000人	200万人	
南北合計	約532万人 (内死者350万人)			当時の人口3500万人のうち6人に1人が犠牲になった
国連軍	約15万人			内14万人が米軍
中国	約90万人	18万3000人	72万人	

【参戦国一覧】

* 国連軍 [22 カ国]

アメリカ合衆国：兵力 25 万 3300 人、
イギリス：兵力 1 万 5700 人、
フランス共和国：兵力 7400 人、
カナダ：兵力 5400 人、
大韓民国：兵力 98 万人、
オランダ王国：兵力 7200 人、
ベルギー王国：兵力 5600 人、
ルクセンブルク大公国：兵力 400 人、
ギリシャ共和国：兵力 1000 人、
オーストラリア：兵力 900 人、
ニュージーランド：兵力 800 人、
トルコ共和国：兵力 4600 人、
タイ王国：兵力 1100 人、
フィリピン共和国：兵力 1100 人、
コロンビア共和国：兵力 1100 人、
南アフリカ共和国：兵力 800 人、
エチオピア：兵力 1200 人、その他

* 朝鮮民主主義人民共和国：兵力 135 万人、

中華人民共和国 [抗美援朝義勇軍] 兵力 100 万人前後、

ソビエト連邦（実戦参加は無いが、金日成に武器を援助している。また、ソ連軍パイロットが戦っていたという情報もある。）

◇ 南北朝鮮の分断

	朝鮮戦争当時	現在	備考
大韓民国	2500 万人	5000 万人	
朝鮮民主主義人民共和国	1000 万人	2000 万人	
戦前の朝鮮半島			1910 年：1313 万人 1942 年：2553 万人

◇ 大規模な人口移動

朝鮮戦争の悲惨さとして指摘される点は、膨大な規模の離散家族の発生である。南北に引き離された離散家族の数を正確に集計することは不可能に近い。しかし、韓国の社会学者

たちの推計によると、南朝鮮から北朝鮮に移住または拉致された人数は約30万人、北朝鮮から南に脱出してきた人数は45万人から72万人の間と推計される。これを合計すると75万人から100万人前後の人口が移動したことになる。

一般的には、北から南に移住した避難民は約300万人、離散家族の数は約1,000万人にのぼるといわれる。これは、朝鮮戦争によって、大がかりな人口移動が発生したことを意味している。

◇ベトナム戦争：1960年12月～1975年4月：犠牲者

	総数	戦死者	行方不明者	民間人死者
南ベトナム側	約335万6000人	28万5000人	149万人	158万1000人
北ベトナム側	約478万1000人	117万7000人	60万4000人	300万人

【戦力】

*南

延べ2,000,000人(1968)

南ベトナム軍(ベトナム共和国)1,400,000

アメリカ軍548,383

韓国軍50,000

タイ軍22,000

フィリピン軍6110(10,000?)

オーストラリア軍49,968

ニュージーランド軍2500

*北

延べ1,260,000人(1968)

北ベトナム軍(ベトナム民主共和国)280,000

南ベトナム解放民族戦線800,000

ソ連軍3,000

北朝鮮軍600

中国人民解放軍(高射2個師団)60,000(?)

人間自然科学研究所は日本国・出雲の人類史における現代の地政学的使命を感じ、「対立の文明から共生の文化へ」をキーワードに、周辺諸国及び現代史において災難を与えたアジアの国々、関係諸国との信頼関係のプラットフォーム構築に努めてきました。

詳しくはホームページを御覧ください。

<https://www.hns.gr.jp/>